

協働のまちづくり事業完了報告書

年 月 日

大泉町長 様

団体名

所在地

代表者名

年 月 日付けで決定を受けた協働のまちづくり事業が完了しましたので、大泉町協働のまちづくり事業提案制度実施要綱第 17 条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 事業の成果

事業名	
総事業費	
着手年月日	
完了年月日	
事業の内容 及び成果	

2 添付書類

- (1) 協働のまちづくり事業収支決算書（別記様式第 9 号）
- (2) 協働事業の実施に要した費用の領収書の写し
- (3) その他町長が必要と認める書類

協働のまちづくり事業収支決算書

団体名

事業名

1 収入の部

項 目	決算額 (円)	摘 要
合 計		

2 支出の部

項 目	決算額 (円)	摘 要
合 計		

別記様式第10号（第18条関係）

協働のまちづくり事業評価調書

※評価欄に5段階評価を記入してください。

（5点:非常によくできた 4点:よくできた 3点:ふつう 2点:あまりできなかった 1点:できなかった）

※理由欄には、評価の理由を具体的に記載してください。

※自由記載欄には、総括的に振り返った結果を記載してください。

事業名	
記入者	

■協働の原則から、プロセスに対する振り返り

評価項目	評価	理由
<b>【目的の明確化・共有化】</b> 解決すべき課題、協働の手法を用いる意義、目標とする成果等を明確にし、双方で共有できたか。		
<b>【自立性・対等性の尊重】</b> お互いの立場やルールを理解し合い、対等なパートナーとして相手を尊重できたか。		
<b>【信頼関係の構築】</b> 十分なコミュニケーションを図り、お互いに認め合いながら信頼関係を構築できたか。		
<b>【役割・責任の明確化】</b> 課題解決に向けて、それぞれの特性に応じた役割と責任を分担して取り組むことができたか。		
<b>【透明性の確保】</b> できるだけ情報を公開し、協働における透明性を確保することができたか。		

■協働の意義から、事業に対する振り返り

評価項目	評価	理由
<b>【相乗効果の発揮】</b> それぞれの特性を活かすことで、相乗効果を発揮することができたか。		
<b>【事業の成果】</b> 協働によって取り組むことで、より効果的・効率的に課題を解決することができたか。		

■自由記載欄（課題・問題点・成果等）

--